

## ご協賛のお願い

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また弊協会の活動に平素から格別のご高配をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

弊協会は 1966 年に組織された実験動物技術者懇談会を前身として発足し、1975 年に日本実験動物技術者協会と改称改組して以来 50 周年を経て、2017 年には一般社団法人格を取得して新たな歩みを始めたところです。弊協会は実験動物・動物実験に携わる技術者の情報発信の場として、また研究成果や創意工夫を発表し、自らが互いに切磋琢磨する場として、これからも絶え間なく活動を進めてまいります。

現在、私ども実験動物技術者が関わる分野は多岐にわたっております。日常の動物管理はもとより、施設管理やメンテナンス、ユーザーへの教育というドメスティックな領域から、近年の「動物の愛護及び管理に関する法律」等関連法令の改正に加え、動物実験の現場に向けられる社会的要請は国内にとどまらず、より広い視野—インターナショナルな視野においても、実験動物福祉の充実と動物実験の倫理的適正化が求められてきました。海外の論文発表の場では、動物実験の結果に対する信頼性は、「実験に供された動物が科学的に制御された環境で倫理的に飼養されていることが求められる」ということが、最近の科学雑誌ネイチャーで触れられた話題でもあります。国内外の情勢が日々様変わりする中で、私ども実験動物技術者は古くから続く良き技術を担いながら、この先も新たな開拓精神で、これまでに見たことがないもの、考えたことのないこと、到達したことのないレベルを目指して、日々進歩したいと願っております。

そのような中で、例年実施しております全国総会を 2020 年度は弊協会北海道支部及び奥羽支部が合同で主管し、北の大地北海道は旭川市にて開催する運びとなりました。「第 54 回日本実験動物技術者協会総会 in 旭川」と題して、2020 年 10 月 23 日(金)～24 日(土)にかけて、旭川市民文化会館にて開催する予定です。会期の前日となる 10 月 22 日(木)には、同会場でサテライトセミナーも企画しています。

今大会では、「実験動物技術の開拓者たちよ、大志を抱け！」をテーマに、実験動物科学・技術の一層の発展を展望し、また同時に国内だけではなく海外の動物実験技術をも視野に入れながら、私ども実験動物技術者の自己研磨の場にできればと考えております。

本来、大会の運営は参加者の参加費などですべて運営されるべきところではありますが、会場準備にかかる費用のみならず、特別講演やシンポジウムなど講師の先生方に遠方からご来駕いただくこともあり、その全経費を参加費だけでまかなうことは困難で、皆様にご支援をお願いせざるを得ないのが現状です。この大会が参加者の皆様にご満足いただける有意義な会となりますよう、組織委員一同、鋭意努力いたしますので、何卒、関係各方面の皆様より格別のご支援を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

謹白

2020 年 2 月吉日

第 54 回日本実験動物技術者協会総会 in 旭川

大会長 清水 範彦